

クッキングヒーター (組込形)

形名

- SPH-223GS (3口・ロースター付)
- SPH-222GSL (3口・ロースター付)
- SPH-222GS (2口・ロースター付)
- SPH-222NS (2口)

- この商品を安全に正しく設置していただくために、取付・設置の前にこの取付・設置説明書をよくお読みになり、この取付・設置にしたがって確実に取付・設置を行なってください。
- 取付・設置完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
- この取付・設置説明書は取付・設置完了後、お客様にお渡しし、取扱説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。
- つぎの内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明



警告 “取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことが想定されること”を示します。

※1：重傷とは失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
 ※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
 ※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。



注意 “取扱いを誤った場合、使用者が傷害^{*2}を負うことが想定されるか、または物的損害^{*3}の発生が想定されること”を示します。

■図記号の説明



○は、禁止(してはいけないこと)を示します。



●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。



警告

電気配線工事は、必ず電気工事登録業者に依頼する

ご自分で配線工事をされ不備があると、漏電や火災の原因になります。



必ず守る

定格に見合う専用回路と併せて漏電しゃ断器を設置する

SPH-223GS,222GSL,222GS
 …200V・30A以上
 SPH-222NS…200V・20A以上

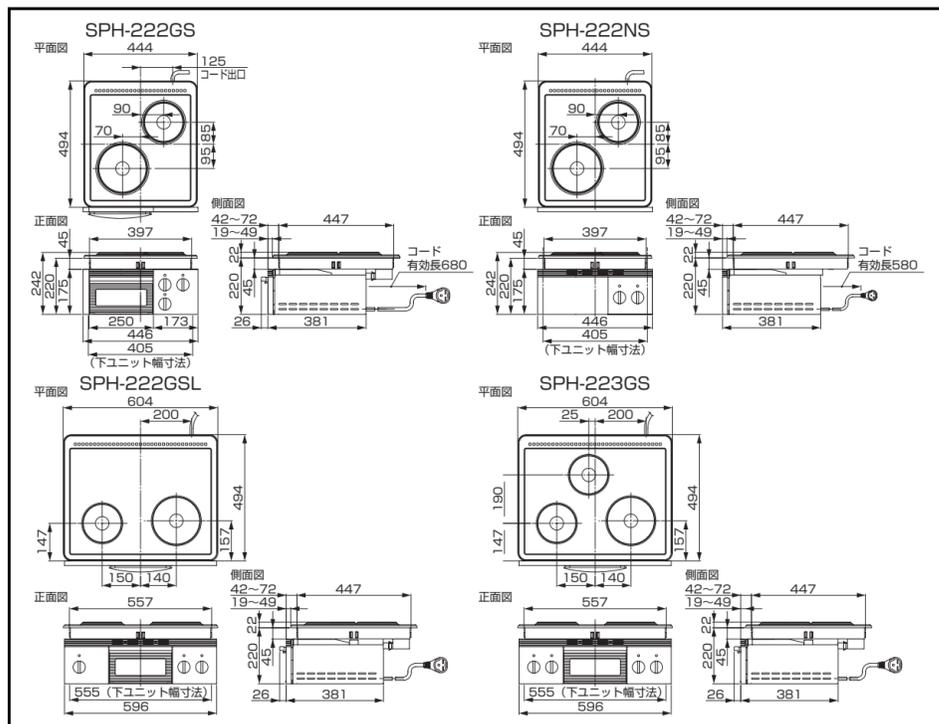
この工事をしないと、配線部が異常発熱し発火することがあります。



必ず守る

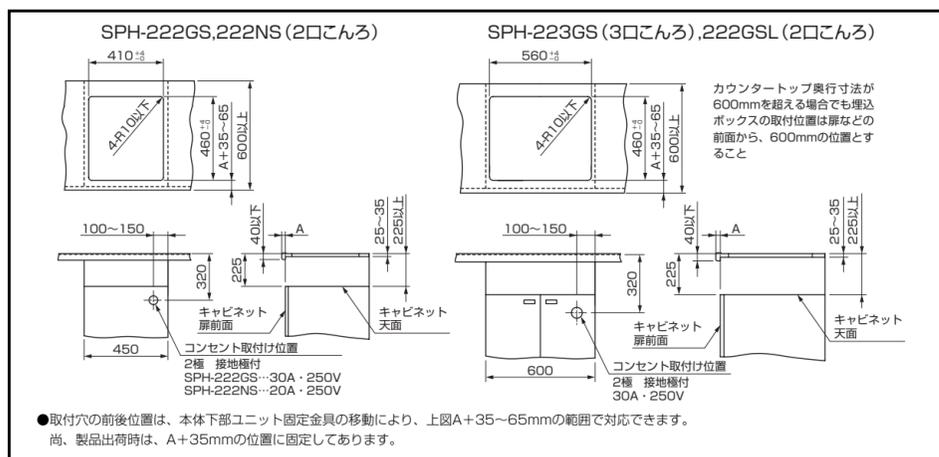
1 外形寸法図

(単位：mm)



2 システムキッチンとの関係寸法図

(単位：mm)



警告

取付・設置は「取付・設置説明書」に従って確実に工事する

設置に不備があると、漏電・火災・けがなどの原因となります。



必ず守る

電源コードを傷つけたり、プラグを外して直結しない

漏電やショートにつながることもあり、感電や発火の原因になります。



禁止

絶対に分解、修理、改造は行なわない

発火、異常動作してけがをすることがあります。



分解禁止

設置は火災予防条例に基づいて、可燃物との離隔距離を必ず守る

距離が近いと、火災の原因になります。



必ず守る

アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令、規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行なう

漏電時に感電のおそれがあります



アース線接続

注意

トッププレートに衝撃を加えない

ひびが入ったり過熱、感電などの原因になりますので、上に乗ったり、物を落としたりしないでください。



衝撃を加えない

試運転中、トッププレートや排気口などの高温部に触れない

やけどのおそれがあります。



禁止

ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う

熱硬化樹脂化粧板 (JIS K 6903) または、これと同等以上のもの。耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。

※ニス引きのものは変色する為、使わないでください。



材料確認

お願い

製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は、建造物の壁中の金属(メタルラスなど)とシステムキッチンの金属部と接触しないようにするか、または製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。

3 設置場所の確認

火災予防条例、電気設備技術基準第59条にしたがって設置してください。

壁からの距離

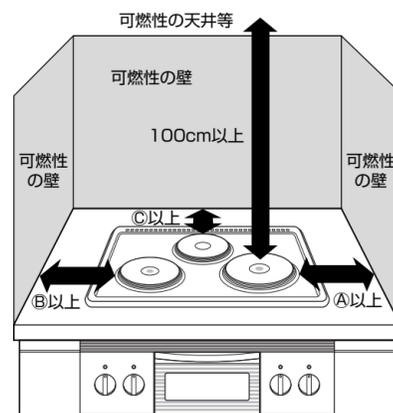
■周囲が可燃性の壁の場合

●右図の通り側面と背面の壁を加熱面の外周から離してください。

形名	A	B	C
SPH-223GS	15cm	15cm	15cm
SPH-222GS	15cm	15cm	15cm
SPH-222NS	15cm	15cm	15cm
SPH-222GSL	15cm	15cm	寸法規制の適用なし

- 器具の上方の天井、吊り戸棚などの可燃性の部分との間は100cm以上離してください。
- 器具の前面は60cm以上離してください。
- 側方は器具の外周から右図の距離をとってください。

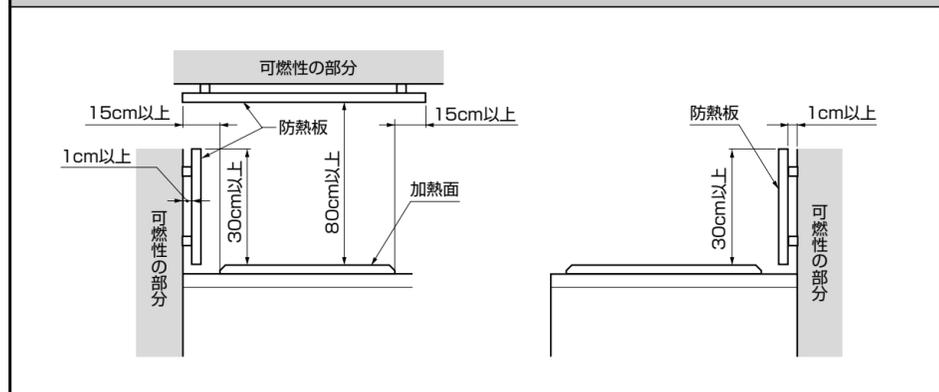
[消防法 基準適合 “組込形”]



■可燃性の壁から上記の距離を離せない場合は、防熱板を取り付ける。

- 不燃材料でできている防熱板を下図の要領で取り付けてください。
- なお、防熱板と壁の間には1cm以上の空間を設けてください。

防熱板を使用したときの離隔距離



4 設置についてのお願い

システムキッチンの材料

- クッキングヒーターは、電気用品安全法の技術基準で定められている平常温度上昇試験における各部の温度が95℃、異常温度上昇試験における各部の温度が145℃になるものと想定し、システムキッチンのクッキングヒーター近傍の材料は、145℃の熱に耐えるものを使用してください。
- また、ワークトップに使用する接着剤なども耐熱性のあるものを使用してください。
- ワークトップは、十分な強度を持ち平らなものを使用してください。
- ステンレスなどの薄板を使用する場合は、裏打ちなどで補強してください。

5 電気工事および接地工事

- 電源工事や接地工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」に準じてください。
- 電源は30A専用回路（ブレーカ付）を設けてください。
万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をお願いいたします。
- 屋内配線用電線は、線径φ2.6mmのものを使ってください。
- 電源コンセント：埋込コンセント
SPH-223GS/222GSL/222GS：
単相3線式定格250V/30A（一極接地用）
SPH-222NS：単相3線式定格250V/20A（一極接地用）
- 電源コードの直付は絶対にしないでください。
- アース工事を必ず行なってください。（D種接地工事）
- 上記コンセントの一極接地用に配線してください。

《ご注意》
アース線はガス管や水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。

電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方に行なっていただきますようお願いいたします。

6 付属部品

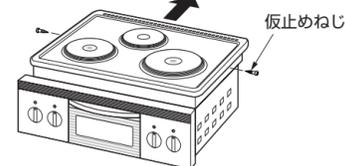
器具の付属品			取付・設置に必要な部品・説明書				
ロースター受皿	ロースター焼網	ロースター用取っ手	固定金具A	固定金具B	本体固定ねじ	固定金具取付ねじ	説明書セット
							
1枚	1枚	1個 ※SPH-222NSICは ありません。	3個	1個	M3×25 2個	M4×25 4個	各1部

●上記部品が同梱されています。不足品のないことを確認してください。

7 設置方法

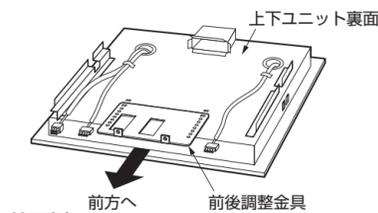
1. 上下ユニットの分離

- 上下ユニットを分離します。
- ①製品の側面にある輸送用の仮止めねじ（2本）をはずします。
- ②上部ユニットを後方へスライドさせて、はずします。

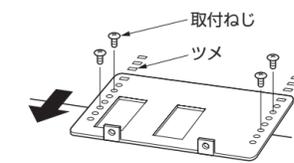


2. 前後調整金具の移動

- 前後調整金具の移動により「システムキッチンとの関係寸法図」における取付穴の前後位置がA+35～65mmの範囲で移動できます。
- 製品出荷時はA+35mmの位置に固定してありますので移動が必要な場合は下記に従いあらかじめ前後調整金具を移動してください。（1コマ10mm間隔）

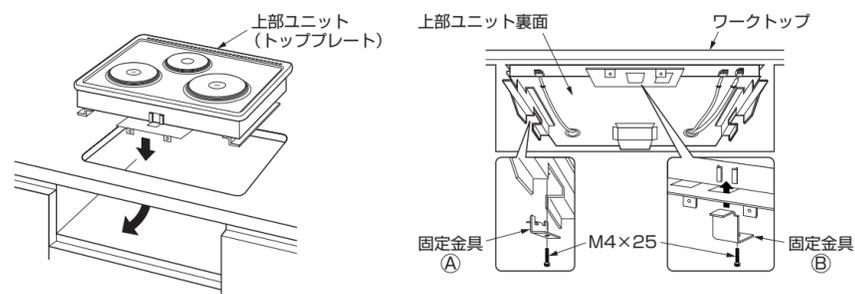


- ①前後調整金具取付ねじ4本をはずします。
- ② A+45mmの場合
前後調整金具のツメを前方へ1コマ移動しねじ止めしてください。
- ③ A+65mmの場合
前後調整金具のツメを前方へ3コマ（最前位置）移動。



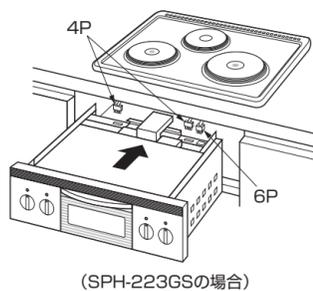
3. 上部ユニットの取付け・固定

- 取付穴上面より上部ユニット（トッププレート）をはめ込みます。
- ①上部ユニット（トッププレート）を取付穴へ、左右の隙間がほぼ均等になるようにはめ込みます。
- ②付属の固定金具Aを上部ユニット左右の固定金具取付位置に下側から差し込み、付属のねじM4×25（2本）で固定してください。
- ③下部キャビネットの側板等で、固定金具が左右の取付位置に差し込めない場合は、前後の取付位置を利用します。
- ※この場合前方部は固定金具Bを使用してください。
- ④固定金具取付後、トッププレートのパッキンと、ワークトップとの隙間がないことを確認してください。



4. 電気配線

- 下部ユニット（ロースター部）と接続して電源プラグを差し込みます。
- コンセントに水滴が直接流れこまめ様コードをたるませてください。（漏電防止の為）
- ①専用回路のブレーカーおよび下部ユニットの火力調節つまみが「切」になっていることを必ず確認してください。
- ②下部ユニットをキッチンの前面穴へ近づけて電源プラグを壁面のコンセントに確実に差し込みます。
- ③上部ユニットから出ているコネクターを下部ユニットのコネクター部に接続します。



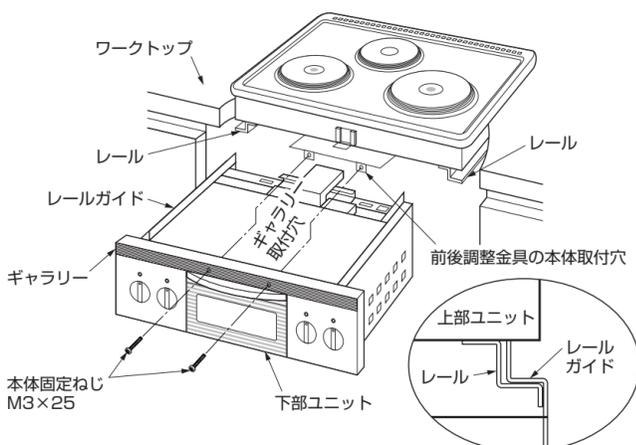
（SPH-223GSの場合）

右側：6P、4P 各1個
左側：4P 1個（SPH-222GS/222NSIにはありません）

コネクターは根元まで確実に差し込み、ロックの爪で固定されていることを必ず確認してください。差し込みが不完全な場合、通電不良・コネクターの異常過熱の原因となります。

5. 下部ユニットの取付け

- 下部ユニットをキッチンに挿入します。
- ①下部ユニット上面の吊り下げレールに下部ユニットのレールガイドを合わせながら前方より差し込みます。
- ②付属の本体固定ねじ（2本）で下部ユニットのギャラリ取付穴よりねじ止めします。



8 取付・設置完了後の確認

設置終了後、次の手順で確認し、チェック欄に○印をしてください。

確認項目		チェック
外観	トッププレートの枠が浮いていないことを確認する。	
	トッププレートが汚れていないことを確認する。	
電気工事	①電源電圧が200Vであることを確認する。	
	②アース工事が確実に行われていることを確認する。（接地抵抗100Ω以下）	
	③専用コンセントを使用していることを確認する。（接地形2極30A250V）	
	④漏電ブレーカーが設置されていることを確認する。（感度電流30mA以下）	
	⑤電源プラグの差し込みは確実にされているか確認する。	
	⑥電源コードを傷付けていないか確認する。	
試運転	①火力調節つまみを「強」にする。→ ヒーターが約1～2分で熱くなる。 ・通電ランプが点灯する。	
	②火力調節つまみを「切」にする。→ 通電ランプが消灯する。 ・ヒーターが徐々に冷えてくる。	
確認	年 月 日 確認者	印

電気試験終了後は必ず電源を「切」にしてください。

《注意》

- 通電しますとヒーターや本体各部が熱くなりますので完全に冷えるまで手を触れないでください。
- ・取扱説明書、取付・設置説明書をお客様にお渡しください。

SHK 三化工業株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4丁目4番8号 東京中央ビル
TEL.03-3239-1819 (代) FAX.03-3234-2532